

『カエデをぐるりと囲むように、
子どもたちと地域の大人たちが交流し合う地域拠点施設づくり』

● 小学校

[1 階]

- ・職員室、校長室、保健室は外の様子が見える位置に配置して見守りやすさや管理しやすさに配慮
- ・職員室⇄校長室⇄保健室が行き来しやすく連携しやすいように前室スペースを配置
- ・職員室側にカウンターを設けて窓口対応のしやすさに配慮
- ・特別教室の各室は日常時や有事の利用しやすさを考慮し優先順位をつけて配置
 - 家庭科室：・防災時の炊き出しに配慮し中庭に面した位置に配置
 - ・イベント利用時に中庭と一体的に利用可能
 - 図工室：・外のテラスと一体的な利用がしやすく創作活動がしやすい位置に配置
 - ・離れの工房ように設え、将来的に図工室のみの貸出も可能に
 - 理科室：・植物や生物の生育・観察がしやすいように南側に配置
 - 音楽室：・音楽活動が活発な地域の特徴から、地域開放時に利用しやすいよう地域コミュニティ施設近くに配置
 - メディアセンター：・どの特別教室とも隣接しており調べ物がすぐにできる
 - ・普通教室以外にふらっと立ち寄れる居場所としても利用可能
 - ・動線の要の位置にあることで日常的に本に親しめる環境をつくる
 - ・落ち着いて学習しやすいスペースとしてメディアセンター 2 を分離して配置

[2 階]

- ・2 階に 1～6 年生の普通教室をまとめ、異学年の児童同士が連携・交流を図りやすい配置
- ・特別支援教室前にもワークスペースを配置し、普通教室と同様のスペースを確保
- ・普通教室と特別支援教室の部屋の大きさを統一し教室配置の変更しやすさに配慮
- ・普通教室にはハイサイドライトを設け十分な通風と採光を確保
- ・児童用の昇降口を 1 階体育館玄関と兼用できる位置及び 2 階の 2 か所に設けて登下校の混雑を避けるとともに校舎内への出入りしやすさに配慮
- ・2 階の普通教室のエリアに分散して教員コーナーを設け、児童を見守りやすい環境づくりへ配慮
- ・特別支援教室(2 室)を 2 階の中央に配置して、他学級との交流が図りやすい配置
- ・放送室は主に児童が利用する場所であることから 2 階に配置
- ・配膳室 2・3 を追加で配置（配膳しやすさと衛生面への配慮）

●体育館

- ・体育館玄関を小学校の昇降口 1 と兼用し体育館の階段を有効活用
- ・地域開放を見据えて更衣室を配置
(有事の際には隣の防災倉庫の荷捌きスペースとして活用可能)
- ・体育館の便所は施設内外から利用可能

●地域コミュニティ施設

- ・事務スペースを交流スペースだけでなく、学校のメディアセンターをも見通せる位置に配置し、学校の特別教室ゾーンを開放した場合には交流スペースとメディアセンター廻りの全体を管理しやすくセキュリティに配慮しやすい
- ・多目的ホールを広場と校庭に面して配置し、子どもたちから中での活動が見えやすくなると共に広場との一体的な利用も可能
- ・活動室 1・2 を交流スペース 1 に面して配置し交流スペースに滞在する地域の人々から活動室での活動の様子が伝わりやすい
- ・中学校側からも活動室での活動の様子が伝わりやすい
- ・交流スペース 1 はにぎやかに地域の人々が集うスペースとして、交流スペース 2 は静かに憩える滞留スペースとして分散して配置
- ・有事の際は、多目的ホール横の通路から学童を抜ける通路を活用し体育館との連携が可能
- ・交流スペースと学校のメディアセンター同士の見通しがよく、休日に地域開放する場合には双方を見守りやすく管理しやすい
- ・子育て世代の利用に配慮して授乳室を配置

●学童保育所

- ・保育室を校庭/中庭/中学校側に面して配置し、子どもたちの多様な活動に対応しやすい
- ・少子化による将来の転用利用を見据えて保育室を 1 室と 2 室で分散配置
(保育室 3 を地域住民用の貸室へ転用可能)
- ・学童保育所専用の中庭を設けて子どもたちのあそび場を確保
(体育館側からも利用可能)
- ・中庭はデッキで設えて監理しやすさに配慮